

第 73 回日本農村医学会の学術総会で研究奨励賞受賞について

本学の工藤安史准教授が、令和 6 年 10 月 14 日に新潟で開催された第 73 回日本農村医学会の学術総会で研究奨励賞（英文誌、医師・研究者部門）を受賞いたしました。論文のタイトルは、[Facilitating the acceptance of employment of older registered nurses among Japanese female registered nurses younger than 65 years old](#) です。

近年、様々な産業で高齢者雇用の促進が進んでおります。しかしながら、病院看護部の勤務は重労働であるため、現職の看護師が、高齢看護師の雇用を受け入れているとは限りません。そこで、病院の看護部で高齢看護師の雇用が円滑に進むための施策を考えるために、現職の看護師を対象に、高齢看護師の雇用に対する意識を因子分析で定量化しました。その後、これらの意識と高齢看護師の雇用の受け入れとの関連性を重回帰分析で解析いたしました。その結果、現職の看護師は、健康に職務を遂行できると認識しているほど、高齢看護師の知識や経験を活用できる環境が整っているほど、看護師の過重労働対策に貢献できると考えているほど、高齢看護師の雇用を受け入れていました。病院の看護部で高齢看護師の雇用を進めるためには、これら 3 つの事について検討する必要があると考えます。

内容の詳細は、以下をご覧ください。

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jrm/17/3/17_2021-060/_pdf

○授与式の模様

